



保健室便り

新型コロナウイルス感染拡大

～第6波オミクロン株～



No.120 2022年1月25日
桃山学院大学 保健室

新型コロナウイルスは変異を繰り返し、現在世界中に猛威を振るっている株は、2021年11月南アフリカから報告されたオミクロン株です。オミクロン株は、人の細胞に侵入しやすいため感染力が強く、今までに経験したことがない速度で感染者数が増加しています。軽症・中等症の入院患者が増加し、子供の感染が増えています。このまま増加し続けると医療機関が破綻し、通常の医療も受けることが困難になります。

大阪府に「まん延防止等重点措置」が1/27から発出される見込みです。

■ オミクロン株

1. 感染力が強く、デルタ株の3倍の感染力(2022/1/4CDC発表)
2. 肺炎などの重症化する率は低い(上気道で増殖する速度は速いが、肺内での増殖速度は遅い)
3. 主な症状は、咽頭痛、鼻水、咳、発熱(37度台から39度)、頭痛、倦怠感等風邪の症状とほぼ同じです。
4. デルタ株と比べて入院率は、成人1/3、小児1/2に減少していますが、加齢と共にリスクは高くなります。
5. 後遺症については不明

ワクチンの効果(mRNAワクチン)

6. 2回接種後6ヶ月程度で発症予防効果は10%、入院予防効果は52%に低下する
7. 3回目接種で発症予防効果は70%、入院予防効果は、88%へ上昇する

■ 隔離に備える

感染しても軽症や無症状の場合、また濃厚接触者と判定された場合、ホテル療養もしくは自宅療養となります。外出が出来ないので、10日分程度の飲み物、食糧、し好品は、備蓄しておきましょう。

友人、家族、職場の人との連絡方法を計画しましょう。

■ 経口治療薬

いずれも発症から5日以内に投与開始する必要があり、重症化する恐れがある人が対象です。

モルヌピラビル:カプセル剤で1日2回、5日間服用する。

パクスロビド:2種類の錠剤で1日2回、5日間服用する。(2022年2月特例承認される見込み)

■ 新型コロナワクチン追加接種(3回目)について

接種実施期間:2021年12月1日～2022年9月30日まで

接種対象者:新型コロナワクチン2回接種した18歳以上の方

接種時期:2回目接種した日から一定期間経過した人(6ヶ月～8ヶ月)、住民票がある自治体のホームページ等でご確認ください。

接種申し込み方法:住民票がある自治体から接種対象者へ、「接種券」もしくは「接種予約案内」が送付されます。自治体の接種申し込み方法に従って各自で予約してください。

接種ワクチンの種類:初回接種に用いたワクチンの種類に関わらず、mRNAワクチン(ファイザー社のワクチンまたは武田/モデルナ社のワクチン)が使用されます。また、1回目、2回目のワクチンと異なるワクチンでも接種可能です。

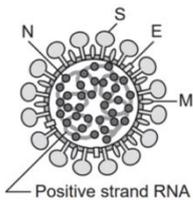
*新型コロナワクチンの交差接種の場合の副反応は、1回、2回接種で報告された副反応と同程度で、交差接種と同種接種で差がなく、追加接種前と比較して追加接種後15日目のIgG・中和抗体価が上昇したと報告されています。

※第25回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会(令和3年10月28日)提出資料より

- 厚生労働省より「3回目ワクチン接種についてのお知らせ」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_booster.htm





ウイルスは今後も変異し続け、根絶することは困難です。
基本的な予防方法は変わらないので、継続して行うことが大切です。

感染予防の基本



- 30秒以上かけて丁寧に手を洗う習慣を身につける。
- 手洗いしていない手で口元、鼻、目等の粘膜を触らない。
- マスク*は、ノーズワイヤーをM字に折り曲げ鼻筋にフィットさせ、ほほ、あごまで覆うように正しく着用する。
- 部屋の対角線上の窓やドアを開けて換気することは重要です。
- ソーシャルディスタンスは、特に食事などマスクを外す時は2m以上離れて、対面に座らないよう注意しましょう。
- バランスの良い食事と睡眠をとり、疲れを翌日まで残さない。
- 外食は、コロナ対策が守られている店を選び、いつも一緒に過ごしている人に限定する。食事するときは、人数、短時間、「黙食」会話時はマスクを着用する。
- 国や都道府県から発出される蔓延防止対策、緊急事態宣言などの措置は、遵守してください。

*マスクは、PM2.5に対応、ウイルス飛沫を99%カットなど性能が表示されているものを選びましょう。
不織布マスクのほとんどは、対応しています。

不織布マスク

吸い込み飛沫量 → 30%
吐き出し飛沫量 ← 20%



ウレタンマスク

吸い込み飛沫量 → 60~70%
吐き出し飛沫量 ← 50%



布マスク

吸い込み飛沫量 → 55~65%
吐き出し飛沫量 ← 18~34%



不織布マスクは飛沫防止効果が最も高い

スパコン「富岳」のシュミレーションで不織布マスクは飛沫効果が高いことがわかった。

手洗いのすすめ

水とハンドソープで、ウイルスは減らせます！



不安なことや、わからないことがあれば保健室までご相談ください。
保健室 TEL0725-54-3131 (代表) 月~金 9:10~16:40
メール:hoken@andrew.ac.jp